

令和3年度

長野県高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会
兼 第54回全国アーチェリー選手権大会長野県予選会

期日 令和3年 5月 22日(土)
場所 木島平三本松ジュニサッカー場



前進しよう・向上しよう・飛躍しよう

主催 長野県高等学校体育連盟
長野県教育委員会

共催 (公財)長野県スポーツ協会
長野県アーチェリー協会

後援 信濃毎日新聞社

主管 長野県高体連アーチェリー専門部

県高体連ホームページ <http://www.ngn-hssp.org> Eメール koutairen@ngn-hssp.org
専門部ホームページ <http://archery.ngn-hssp.org> Eメール ngnktrarc@outlook.jp
専門部問い合わせ先 上田西高等学校 TEL 0268-22-0412 担当 若月 匡史

大会役員

| | | |
|---------------|---------------------------------|-------|
| 名 誉 会 長 | 長野県知事 | 阿部 守一 |
| 名 誉 顧 問 | 長野県副知事 | 太田 寛 |
| | | 小岩 正貴 |
| 大 会 会 長 | 長野県高等学校体育連盟会長 | 小林 武広 |
| 大 会 副 会 長 | 長野県高等学校体育連盟副会長 | 宮本 隆 |
| | | 新津 英人 |
| | | 小幡 正樹 |
| | | 埋橋 浩 |
| | | 杉村 修一 |
| | 長野県高等学校体育連盟アーチェリー専門部長 | 中山 長年 |
| 顧 問 | 長野県教育委員会教育長 | 原山 隆一 |
| | 長野県教育委員会教育委員 | 伏木 久始 |
| | | 矢島 宏美 |
| | | 荻原 健司 |
| | | 塚田 裕一 |
| | | 中澤 眞弓 |
| | 長野県教育委員会事務局教育次長 | 尾島 信久 |
| | | 今井 義明 |
| | (公財)長野県スポーツ協会副会長 | 小林 武広 |
| | | 小坂壮太郎 |
| | | 児玉 幹夫 |
| | | 萩原 清 |
| | | 林 泰章 |
| 原山 隆一 | | |
| 長野県アーチェリー協会会長 | 村上 正之 | |
| 木島平村長 | 日碁 正博 | |
| 参 与 | 長野県教育委員会事務局参事兼高校教育課長 | 服部 靖之 |
| | 長野県教育委員会事務局スポーツ課長 | 北島 隆英 |
| | (公財)長野県スポーツ協会理事長 | 林 泰章 |
| | (公財)長野県スポーツ協会専務理事 | 茅野 繁巳 |
| | (公財)長野県スポーツ協会事務局長 | 伊東 一雄 |
| | 長野県アーチェリー協会副会長 | 日碁 正博 |
| | 木島平村教育長 | 小林 弘 |
| | 長野県高等学校体育連盟加盟高等学校長 [氏名省略] | |
| 大 会 委 員 長 | 長野県高等学校体育連盟理事長 | 大谷 雅亮 |
| 大 会 副 委 員 長 | 長野県高等学校体育連盟副理事長 | 矢野 清隆 |
| | | 島崎 剛 |
| | | 鷹野 俊幸 |
| | | 島崎 貴史 |
| | 長野県高等学校体育連盟アーチェリー専門委員長 | 若月 匡史 |
| 委 員 | 長野県教育委員会事務局スポーツ課企画幹兼課長補佐兼管理係長 | 沼澤 由憲 |
| | 長野県教育委員会事務局スポーツ課教育主幹兼学校体育係長 | 小林 秀樹 |
| | 長野県教育委員会事務局スポーツ課教育主幹兼体育スポーツ振興係長 | 田島 康彦 |
| | 長野県アーチェリー協会理事長 | 菅原 正幸 |
| | 長野県高等学校体育連盟アーチェリー専門委員 | 臼田 嵩 |
| | 長野県高等学校体育連盟理事 [氏名省略] | |

競技役員

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 総務委員長 | 増田 宣良 |
| 競技委員長 | 村上 正之 |
| DOS | 若月 匡史 |
| 審判長 | 井原 一徹 |
| 審判員 | 臼田 嵩 若月 匡史 今井和樹 大日方 海 |
| 進行放送 | 今井 和樹 |
| 計時信号 | 村上 正之 |
| 記録 | 臼田 嵩 |
| 救護 | 今井 和樹 |
| 記録補助 | 篠ノ井高等学校アーチェリー部部員 上田西高等学校アーチェリー部部員 |

緊急連絡先 飯山赤十字病院 0269-62-4195 飯山市大字飯山 226-1
岳北消防本部 0269-62-0119 飯山市大字木島 357-6

日程

- 5月22日(土)
- 10:00～ 会場設営
 - 11:20～ 昼食
 - 12:00～ 開会式
 - 12:20～ 競技 (フリープラクティス 2回)
 - 15:00～ 競技終了・得点集計・片付け
 - 16:00～ 閉会式
 - 16:30～ 解散

競技規定 (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則及び大会運営規定による。

競技方法

- (1) 競技は全国高等学校選抜大会方式(70mラウンド)で行う。1標的3名で同時利用し、ABC1立制とする。122cm 的紙を用い、4分6本完射とする。
- (2) 練習は、フリープラクティスを2回、競技前に行う。
- (3) 競技中の服装は、全国選抜に準じるものとし、事前に申し出があった場合に限り、例外を認める。
 - ・上衣、下衣はチーム内で統一し、学校名を背面もしくは前面に、都道府県名は右腕の袖口にそれぞれ1ヶ所明示する。
 - ・上衣は、長袖、短袖は同一デザインならば混在し着用できる。シャツの裾は下衣に必ず入れ、外に出してはならない。
 - ・下衣は無地(単一色)で男子はスポーツスラックスかショートパンツ、女子はスポーツスラックスかスカート、ショートパンツを着用する。ショートパンツは競技者が腕をたらした時に指先より長く、かつ膝頭が見えること。スラックス、ショートパンツ、スカートの混在は認めない。
 - ・靴はアーチェリーに適した運動シューズとする。カジュアルシューズ、ダンスシューズ、タウンシューズ等は認めない。靴下について、ルーズソックス等は認めない。帽子はチーム内で統一されていること。着用の混在は認める。
 - ・雨具、防寒具の着用を認める。
- (4) 弓具検査は、試合中に随時、審判がおこなう。

- (5) 競技場内の立ち入りは、認知書に書かれた監督・マネージャーのみとする。また、監督・マネージャーは、競技中、WWLまで立ち入ることができる。なお、SL上の選手に対し、「合図またはサイン等による教示」をおこなったと判断される場合、即時、競技場内から退場処分とし、以降の立ち入りを禁止する。
- (6) 携帯電話等を競技場内で使用すること、着信音を鳴らすことは厳禁とする。
- (7) 競技は、カウントダウンタイマー付視覚信号機と電子音による聴覚信号音を併用しておこなう。
- (8) スコープの高さは脇の下の高さを超えてはならない。
- (9) 記録用紙への記入はすべて選手がおこない、選手氏名はフルネームで、楷書体で記入する。
- その矢を所有する競技者の呼称に従って、高い得点から順に記録用紙に記入する。
 - 同じ標的の他の競技者は、呼称、記録される矢の得点を以下の表に従って確認する。
 - 役割等を拒んだ場合は、競技会への参加資格を失う。また、虚偽が発生した場合、当該選手または同標的選手全員を失格とすることもある。

| 順位 | 得点記録の順序 ／業務分担の例 | ゼッケン A | ゼッケン B | ゼッケン C |
|----|--------------------|--------|--------|--------|
| 1 | A の得点記録 | 得点呼称 | 記入 | 確認 |
| 2 | B の得点記録 | 確認 | 得点呼称 | 記入 |
| 3 | C の得点記録 | 記入 | 確認 | 得点呼称 |

- (10) 矢が標的面から抜かれる前に発見されたスコアカード記載ミスは、その標的の全競技者が同意すれば、審判を呼ばずに訂正できる。その場合、その標的のすべての競技者が確認し、スコアカードにサインする。なお、1年生は指導上、矢取り前に審判員の確認を受け、審判員の指示に従うこと。
- (11) 競技中、行射により矢を紛失した場合、直ちに審判員へ報告する。
- (12) 記録は、掲示されてから 10 分間、異議申し立てを受付ける。なお、異議申し立てについては、監督を通じて競技本部で受け、競技委員会の裁定を持って最終決定とする。

・感染拡大防止による連絡事項

①参加者に求める感染拡大防止のための措置について

- (1)大会に参加する生徒は健康チェックシート(別紙)を提出すること
- (2)参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。
 - ア)体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ)過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または該当在住者との濃厚接触者がある場合
- (3)行射時を除いて常にマスクを着用すること
- (4)こまめな手洗い、アルコールなどによる手指消毒を実施すること
- (5)他の参加者、主催者スタッフとの距離(1m以上)を確保すること
- (6)試合中に大きな声で会話、応援などをしないこと
- (7)感染防止のために主催者が決めたその他の措置の順守、主催者の指示に従うこと
- (8)大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告すること。
- (9)本大会は無観客試合とする。

②競技会時の対応について

(1)会場準備

- ア)選手テント、役員テントとも設置場所には注意を払い、待機中の選手間の間隔を確保できるようにする。
- イ)テント内の各机には消毒液(1~2個)を置き、こまめに手指の消毒ができるようにする。
- ウ)競技場は、レーン幅や選手間の間隔を確保し、蜜にならないような対策を講じる。
- エ)SL 上で 1 人あたり1mの間隔を確保できるように、会場の環境や安全を考えて標的配置する。

(2)競技中

- ア)選手、監督・コーチ、競技役員、メディア関係者などは、適切な距離を意識し、安全な距離を確保するように努め、放送などで適宜注意喚起する。
- イ)監督・コーチ、競技役員、引率者、メディア関係者については常時マスクを着用すること
- ウ)選手は行射中以外はマスクを着用すること
- エ)審判員が矢の判定で呼ばれた時は選手を標的から遠ざけて、安全な距離を確保する。

令和3年度長野県高等学校総合体育大会アーチェリー競技出場者名簿（的番号順）

| 的番 | 立順 | 選手名 | フリガナ | 学校 | 性別 | 学年 |
|----|----|--------|------------|-------|----|----|
| 1 | A | 浅野 佑衣奈 | アサノ ユイナ | 上田東 | 女 | 3 |
| 1 | B | 甲田 咲花 | コウダ サキカ | 上田東 | 女 | 3 |
| 1 | C | 小林 結月 | コバヤシ ユヅキ | 上田染谷丘 | 女 | 3 |
| 2 | A | 千葉 春綸 | チバ シュリ | 篠ノ井 | 女 | 3 |
| 2 | B | 関屋 好 | セキヤ スウ | 上田西 | 女 | 3 |
| 2 | C | 小西 亜弥 | コニシ アミ | 上田東 | 女 | 3 |
| 3 | A | 中澤 佳乃 | ナカザワ カノ | 上田染谷丘 | 女 | 2 |
| 3 | B | 池谷 夏美 | イケタニ ナツミ | 篠ノ井 | 女 | 3 |
| 3 | C | 梅原 優佳 | ウメハラ ユウカ | 上田西 | 女 | 3 |
| 4 | A | 藤森 夢華 | フジモリ ユメカ | 上田東 | 女 | 3 |
| 4 | B | 金井 由莉香 | カナイ ユリカ | 上田染谷丘 | 女 | 2 |
| 4 | C | 倉島 彩乃 | クラシマ アヤノ | 篠ノ井 | 女 | 3 |
| 5 | A | 田中 空 | タナカ ソラ | 上田西 | 女 | 2 |
| 5 | B | 山崎 碧 | ヤマザキ アオイ | 上田染谷丘 | 女 | 3 |
| 5 | C | 南澤 香々菜 | ミナミサワ ココナ | 佐久長聖 | 女 | 1 |
| 6 | A | 田中 真人 | タナカ マサト | 上田西 | 男 | 3 |
| 6 | B | 上原 羽琉 | ウエハラ ハル | 篠ノ井 | 男 | 3 |
| 6 | C | 西澤 龍星 | ニシザワ リュウセイ | 上田東 | 男 | 3 |
| 7 | A | 田井 佑汰 | タイ ユウタ | 上田西 | 男 | 3 |
| 7 | B | 山田 滉太 | ヤマダ コウタ | 篠ノ井 | 男 | 3 |
| 7 | C | 清住 奏太 | キヨスミ ソウタ | 上田東 | 男 | 3 |
| 8 | A | 柳橋 克哉 | ヤナギバシ カツヤ | 上田西 | 男 | 2 |
| 8 | B | 小川 良太 | オガワ リョウタ | 篠ノ井 | 男 | 2 |
| 8 | C | 金子 優太郎 | カネコ ユウタロウ | 上田東 | 男 | 3 |
| 9 | A | 上原 颯起 | ウエハラ ソウタ | 上田西 | 男 | 1 |
| 9 | B | 小林 建太 | コバヤシ ケンタ | 篠ノ井 | 男 | 2 |